

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.10.23 13:30~15:27)

会場(ほんめ町ふれあいセンター)

テーマ(当町のまちづくりについて・高齢者福祉対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	保育所の統廃合については、呼び方を工夫し「再編成」と位置付け、本梅保育所については特色ある保育所として運営してはどうか。本梅町に在住し、子育てしながら働く人たちの中には、他町で働く人がたくさんおられるが、送迎の都合で職場に近い保育所に子どもを預けられている現状がある。また、生徒数が減少する育親中学校では、部が消滅する等、部活動が制約されてきている現状がある。少子化が進む中、保育所、小学校、中学校までの運営をどのように考えているのか。	保育所や学校の統廃合については、地域としっかり話し合いながら検討し、他の事例もよく検証し議論していくことが大事である。公立保育所の運営のあり方自体も含め、今後も議会としてしっかり取組んでいきたいと考えている。亀岡では、従来から学校をコミュニティの拠点としたまちづくりが行われているのが特徴であり、このようなことを踏まえ、市に対して子どもたちや保護者、地域の声を十分聞くよう議会として意見を述べているところである。	総務文教	○		
			環境厚生	○		
2	農業について地域として頑張っているが、第2カントリーの閉鎖や農業従事者の高齢化が進むため、将来どうなるのかが課題である。また、ほ場整備について本梅町全体で考えていかなければならない。	地域で得意な作物を作るなど特色を生かした運営をするのがよいのではないかと。若い人たちの意見を含めて考えていただきたい。また、国営ほ場整備事業に合わせて、農業法人化を目指し、カントリー建設も視野に入れ取組まれればよいのではないかと。	産業建設	○		
3	農作物の販路拡大や高値での販売が課題である。農協だけではなく、大阪方面や京都市内への新たな米の販路拡大の方策はないか。	法人であれば補助金が手厚くなるので、農業法人を立ち上げられてはどうか。米の販路についても、法人化すれば販売先も取扱うことを考えてくれるのではないかと。	産業建設	○		
4	台風等の災害の際に、高齢者が避難するのが難しい場合があるが、本梅町では福祉施設と協定を結び対応している事例もある。	高齢者の見守りについては、各地域での成功例等を共有して、本梅町でよりよいものにしていただければよいと考えている。	総務文教	○		
			環境厚生	○		
5	高齢者が免許証を返納しても、病院等へ行くための交通インフラが整備されていない状況がある。バス交通を充実したり、乗合タクシーの仕組みを構築することはできないのか。	高齢者の交通手段については、亀岡市内の各地域でも課題となっている。バス交通については、試験運行を実施しても利用者が増えていない実態もある。東別院町では、デマンド交通に取組まれているので、このことも含めて検討していきたい。	公共交通	○		
6	西部地域に消防署を設置することについて要望を出しているが、どうなっているのか。	議会においても従来から大事なこととして内容を共有し、様々な提案をしながら市へ要望してきた。2市1町の自治体で負担金を出し合い、京都中部広域消防組合を設置しており、亀岡市だけでなく広域のことであるので、単独で解決できない事情がある。今後も検討していきたい。	総務文教	○		